

2022年度

韓国 留学報告書

実習先： 慶熙 大学

実習期間： 9月26日 ～ 2月27日

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21021129
氏名：渡邊 瑠華

目次

1. 留学先及び留学期間	3
2. 留学先概要	3
3. 留学目的	3
4. 留学内容	3
4-1. 留学のスケジュール	4
4-2. 留学の詳細	5.6
5. 当初目的・目標への達成度	6
6. 反省点・課題	6
7. 謝辞	6

付録

留学日誌と文化について	7
-------------	---

1. 留学先及び実習期間

留学先： 慶熙大学

実習期間：令和3年9月26日(月)～2月27日(月)

2. 留学先概要

(1) 大学について

キョンヒ大学は、1949年に設立され、ソウル市東大門に位置する総合大学である。キャンパスは異国を感じさせられるほど美しく映画の撮影地や授賞式、結婚式なども開かれる。大学には2万人以上の学生が在籍し、7学部、81学科と幅広い分野がある。キョンヒ大学の国際教育院には毎年約40か国から1200人以上の留学生が通っており、韓国語教育の名門大学である。

(2) 大学で行われている教育について

トウミ制度という韓国人在学生が留学生をサポートする制度があり、週に5時間以上会うことで韓国語、生活など多方面でのサポートが充実している。また、国際教育院では、レベルテストを行い、自分に合ったクラスから授業を始めることができる。クラスは10人ほどで少人数なので、1人1人に先生が丁寧に教えてくれる。

3. 留学目的

今回の留学における目的は、韓国語能力の向上と多文化共生を目指すことである。文法や書きの能力は身につけてきていると感じているが、聞き取りや話す能力をもっと高めるには現地に行き身をもって感じる事が大切である。実際に使える韓国語を目指すため今回の留学に踏み切った。

また、大学1年生の時に多文化共生社会について考えていたこともあり、異文化理解はもちろん、その先にある、尊重し一緒に生きる方法を考えるため、体現することも目的としていた。

4. 留学内容

以下から留学内容を記述する。留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4-1. 留学スケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日	内容
9	26	到着、PCR検査、入寮
	27	オリエンテーション(国情のみ)
	28	授業開始
12	5,6	秋学期 期末試験
	7	クリスマスカード作り、特別授業
	8	修了式
	9~14	冬休み
1	23,24	旧正月連休
	21,22	冬学期 期末試験
	23	グリップブック作り、特別授業
	24	修了式
2	27	帰国

時間割(中級1-2)

午前の授業は4限までで、1,2限は文法。

3,4限は、日替わりで듣고 말하기(聞き話す),읽기(読み),쓰기(書き)。

듣고 말하기の授業では2課ごとに簡単な発表式テストを行う。

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1 限	9:10 ～ 10:00	문법	문법	문법	문법	문법활동
2 限	10:10 ～ 11:00	문법	문법	문법	문법	문법활동
3 限	11:10 ～ 12:00	듣고 말하기	듣고 말하기	읽기	쓰기	듣고 말하기
4 限	12:10 ～ 13:00	듣고 말하기	듣고 말하기	읽기	쓰기	듣고 말하기
		14:10~16:20 세미나(국 情生のみ)			15:15~15:20 문화수업	

4-2. 留学の詳細

<授業概要>

・ 문법

文法の授業。基本は50分で1つの文法を習う。使い方を先生が丁寧に説明したのち、例文を音読、問題を解き答え合わせ。また、毎週金曜日は習った文法を使ってペアワークをする。

・ 듣기/말하기

リスニングの授業では短い問題と長いリスニングの問題があり、全員で聞きながら要点を整理していく。

スピーキングの授業では4時間目にペアで題材にあった会話を作ることがゴール。そのため3時間目には、習った文法を用いた例文で練習したりする。題材は、中級1では問い合わせのやり方、旅行地について、韓国の交通手段など。中級2では、経済、社会問題、討論などかなり実用的。リスニングとスピーキングは題材がマッチしているた

め理解しやすく留学生活のためになる内容。

- ・ 읽기

随筆や感想文、説明文、説得文など様々な方式の文を読む授業。単語力や表現力が広がる。

- ・ 쓰기

リーディングを踏まえて、自分で 500 文字程度書く授業。原稿用紙に下書きをし、先生に添削してもらった後に教科書に書き込む方式。自信がない文法や表現などは書いている途中に質問でき、文の構想を練りながら先生がより良い書き方を提案してくれる。文語、原稿用紙への書き方が身につく。

- ・ 발표 수업

学期の中間あたりに 1 度だけある発表授業は、題材に合わせてパワーポイントを作成し、5 分程度の発表をするというもの。中級 1 では質問調査を用いた発表、中級 2 では듣고 말하기의授業内で扱った題材の中からの発表。

- ・ 세미나 수업(ゼミナール)

国情生のみで行う毎週火曜日のゼミナール。国情を担当してくださるキョンヒの先生と一緒に。準備をして次の週か再来週に発表、を繰り返す。発表原稿は先生が丁寧に添削してくださるので発表に慣れることはもちろん、発表で使う言い回しが身につくとても実用的な授業。

- ・ 문화 수업(文化授業)

毎週木曜日にある希望性の授業でテストは無く、級によって選択できる授業が変わる。発音クリニック、K-POP、韓国ドラマ、旅行、実用韓国語などから選択してオンラインで受講した。またコロナのためにオンラインとなっていたが、2023 年度からはオフラインに復帰し、テコンドーなどの授業も復活する。

5. 当初目的・目標への達成度

この留学においては韓国語能力の向上・多文化共生することが目的だった。スピーキング力・リスニング力が以前に比べて格段に向上していると実感した。習った文法を実際に使ってみること、たくさん会話をすることが大切だと考える。また、生活しながら韓国の文化だけではなく中国、台湾、マレーシアなどの生活を知り、異文化理解も深めることができた。多文化共生をするにあたって必要な大切なパーツだと考える。

6. 反省点・課題

中国人、台湾人、マレーシア人など外国人の友達が多くできたが、韓国人の友達はトウミの他にはほぼできなかった。原因は韓国にしながら、韓国人と関わる機会がほぼなかったためである。留学生活後期になって知ったのだが、異性とだけ出会えるのではなく同姓とも出会えるアプリがありクラスメートの中にも使っている人が多かった。このように、アプリを使ったりしてトウミからだけでなくたくさんのネイティブから韓国語を習えばよかったと反省している。

また、生活費節約のために自炊をしていたがむしろ自炊の方が高くなってしまった。野菜や肉、量も多いが値段も高いので3日分の買い物で3千円ほどになってしまった。安いキンパ屋など食堂に行って食べたほうが安く済ませられたかもしれない。

そして、寄宿舎生活においては、初めにゴミ捨てや洗濯、掃除などをどうやっていくかを決めておけばよかった。決めなかったので、1人の負担が大きくなり留学生活の大きなストレスとなってしまった。

7. 謝辞

キョンヒ大学の先生方、その他携わっていただいた新潟国際情報大学の先生方、派遣留学を復活させていただき、生活を多方面から支えていただき、本当に感謝いたします。また新潟国際情報大学からの奨学金が留学の金銭面の大きな支えとなり、留学を決意することができました。そして、両親や支えていただいた方々に心よりお礼申し上げます。私たちの留学生活は、特にこのコロナの中、尽力して下さったたくさんの方々のおかげであることを忘れません。

6

付録：留学日誌

○韓国について

・本当に 早く早く！の文化

(地下鉄降りる時1つ前の駅から降りる準備、スーパーの会計、エスカレーターなど)

・細い路地が多い

・カフェが本当に多い(カフェで勉強する人も多い)

・寒くても手にはアイスアメリカノ

・人が優しい(おばさんはすぐ話しかけてくれるし、だれでも助けてくれる)

・お酒を飲むときは飲むたびに乾杯をする

・気軽に入れるワインのお店が多い

・デモが多い

○生活

・ 寄宿舍(창덕안)

門限は 12 時、基本は 2 人 1 部屋

月に 1 回夜に点呼があり寮長が部屋の点検に来る

1 階の玄関には警備兼何でも屋のおじさんがいて困ったことは相談できる

日本人の寮長

学校まで約 10 分、最寄りの回基駅までは 1 分

・ お金

平均して月に 9 万円弱、他の留学生もこのくらいの値段と言っていた

クレジットカードがないと会計が面倒くさい(ウォンでの会計に不慣れ)のでカードの準備は必須、屋台以外はカード対応

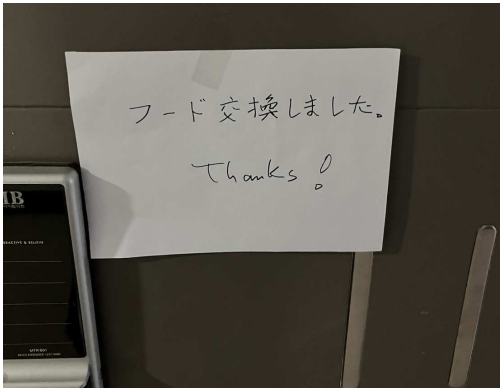
(もし限度額を超えたら、銀行で口座を作りチェックカードを発行してもらるか wowpass カードを作ると便利)



ワインのチェーン店、メニューの名前が魅力的



キンパ 300 円、スープとおかずは無料



日本語勉強中の警備のおじさん



学校の近くのカフェ